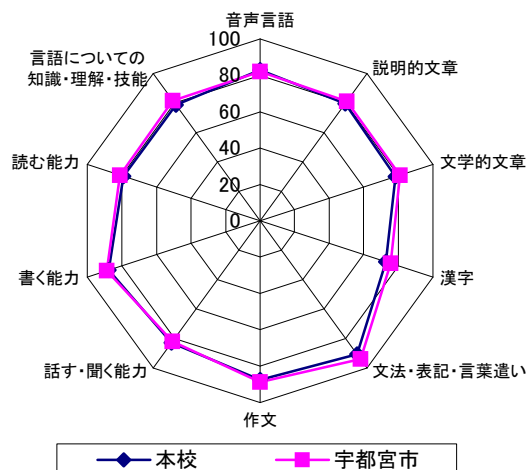


宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	82.9	82.0
	説明的文章	79.8	81.2
	文学的文章	78.4	81.0
	漢字	72.7	75.5
	文法・表記・言葉遣い	90.8	94.0
	作文	87.4	88.8
観点別	話す・聞く能力	82.9	82.0
	書く能力	87.4	88.8
	読む能力	79.1	81.1
	言語についての知識・理解・技能	78.7	81.7



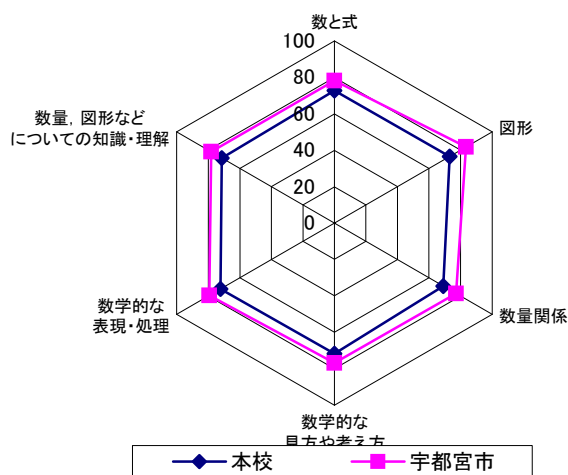
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (82.9%)	昨年度より10.6ポイント上昇している。おおむね満足できる状況である。話の趣旨の聞き取りで市の平均を下回っており、課題がある。	メモを取りながら話を聞き取り、適切にまとめていく指導を工夫したい。
説明的文章 (79.8%)	昨年度より19.8ポイント上昇しているが、市の平均をやや下回っている。語句が指示する内容をとらえることに課題がある。	語句の意味を押さえながら内容理解をおこなったり、段落の要旨をまとめたりする活動を通して言語力の育成に努めたい。
文学的文章 (78.4%)	昨年度より20.1ポイントと大幅に上昇したが、市の平均をやや下回っている。語句の補充や文章の主題をとらえる点に課題がある。	文章の主題や主人公の心情を丁寧に抑えた指導を工夫していきたい。また、読書の時間で読む本を紹介し、家庭での読書を奨励し、多くの優れた文章に触れる機会を増やしていく指導に努めたい。
漢字 (72.7%)	昨年度より15.8ポイント上昇しているが、市の平均を下回っており、満足できる状況ではない。中学3年生の漢字の読みと書き取りにおいて理解が不足している。	漢字の小テストを繰り返し実施し、確実に漢字力が身につくように指導していきたい。また、新出漢字の練習を宿題として出し、さらに定着を図れるようにしていきたい。
文法・表記・言葉遣い (90.8%)	昨年度より13.3ポイント上昇している。市の平均を3.2ポイント下回っているが、おおむね満足できる状況である。小問別に見ると、同音異義語の識別についてやや理解が不足している。	同音異義語について正しく理解させるとともに、反復練習の時間を確保し、生きた言葉の指導を工夫していきたい。
作文 (87.4%)	昨年度より19.4ポイント上昇している。説明的な文章の作文について、技能が不足している。	学級での日記指導や各教科・領域で行う作文・レポートの作成とも関連させ、学級担任や教科担任との連携を図りながら、作文を書く機会を増やし、書き方のポイントを示しながら、書くことに慣れさせる指導を工夫していきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	72.8	78.2
	図形	73.1	83.4
	数量関係	69.0	77.2
観点別	数学的な見方や考え方	71.6	76.8
	数学的な表現・処理	72.2	79.4
	数量、図形などについての知識・理解	71.3	78.2



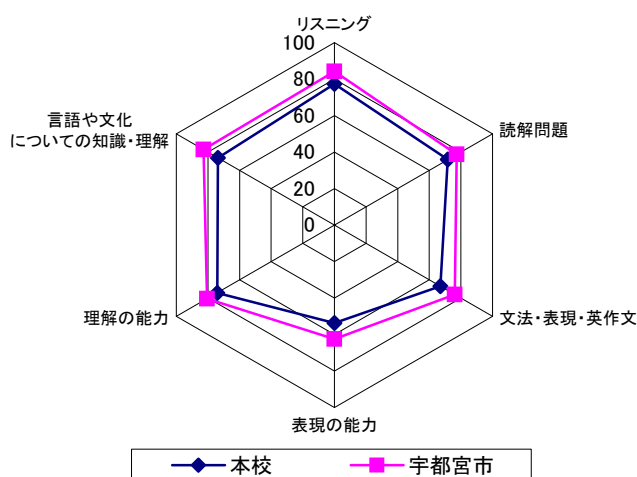
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (72.8%)	昨年度と同程度で、満足できる状況とはいえない。分配法則や根号の加減など基本事項を身につけていく必要がある。	1. 2年次の復習を授業に取り入れるとともに、3年で拡張された根号についての知識や、乗法公式、因数分解の反復練習を行い、計算力を確実に身につけさせたい。計算練習を宿題として出すことで、さらに計算力の定着を図りたい。
図形 (73.1%)	市の平均を10ポイント下回っている。特に相似比、相似条件の理解が低く、演習量の少なさが目立つ。	合同と相似の関連性を確認しながら、その相違点についていねいに指導することで、理解を深めさせたい。
数量関係 (69.0%)	3学年の中では最も正答率が高くなっており、少しずつ知識が定着してきている。しかし、比例定数を求めたり、グラフを書いたりする力が不足しており、まだまだ努力が必要である。	関数の表、式、グラフについて、その相互関係が明らかになるようにいねいに指導するとともに、変化の割合の求め方など、数学的な考え方が身につくよう工夫していきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	77.4	84.3
	読解問題	71.7	77.3
	文法・表現・英作文	67.1	76.1
観点別	表現の能力	53.7	62.5
	理解の能力	74.3	80.5
	言語や文化についての知識・理解	73.7	82.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (77.4%)	昨年度より9.3ポイント上昇しているが、市の平均を6.9ポイント下回っており、不十分な状況といえる。対話のリスニングにおいて不十分さが目立つ。	昨年同様、対話活動をはじめ、CDやALTの効果的な活動を増やし、授業中に英語を耳にする機会を増やしていく。
読解問題 (71.7%)	昨年度より9ポイント上昇しているが、市の平均を5.6ポイント下回っており、不十分な状況といえる。対話文の空所選択において不十分さが目立つ。	短いスピーチの内容把握の練習を繰り返し、ポイントを提示し的確に把握できるよう継続して指導していく。
文法・表現・英作文 (67.1%)	昨年度より10.5ポイント上昇しているが、平均正答率が70%を下回っており、あまり満足した状況とはいえない。長文の空所選択や作文においての不十分さが目立つ。	基本文や基本単語の練習を繰り返し、宿題としても出すようにして定着を図っていく。また、基本表現を使って身のまわりの出来事を英語で表現する場面を数多く取り入れていきたい。